

箱を百年先につなぐ

一年の中で、これからの初秋は過ぎやすい季節の始まりです。

地球を大切にしようという考え方が年々強まり、サステイナブルが更に広がって来ていると感じています。以前に比べてコロナも落ち着き始め、人々の笑顔も見られるようになりました。そんな中、再生紙も可能になりました。そんな中、再生紙も可能な限り有効に使う方法も色々あり、今回はモスボールFに秋らしい掛け紙をかけて和風のギフト箱を仕上げました。

中には、江戸時代から「豆飴」と呼ばれた古典菓子を可愛らしく仕上げたすはま団子を入れて。

再生された紙を愛おしみ、百年先も使えることを祈り作りました。とても頼れる紙、モスボールFです。

モスボール/モスボールF

- 230g/m²、310g/m²、350g/m²、400g/m²
- 古紙配合率70%
- FSC認証紙
- 表裏面ともにパルプ、長繊維古紙等を使用。
中層は一般古紙を使用。
表面はボリューム感のある深い緑に、裏面はオフホワイト。
個性的で高級感があり、和風、洋風を問わずパッケージや貼箱、本の装丁などに広くご使用いただけます。



DAIWA ITAGAMI

大和板紙株式会社

〒582-0004 大阪府柏原市河原町5番32号
TEL.072-971-1445 FAX.072-971-1449
E-mail daiwa@ecopaper.gr.jp
http://www.ecopaper.gr.jp



PAPER NEW WAVE

資料請求・お問い合わせは左記までお気軽にどうぞ！

紙のお求めは「大和板紙 文具館」で

<https://www.kamidoraku.com>

KYOTO MOTOI DESIGN issues it.